

建設第551号

平成20年10月17日

国土交通省道路局長 様

津南町長 小林三喜



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付、国道企第37号で依頼のあったこのことについて別紙のとおり回答いたします。

## 今後の道路行政についての意見・提案

## ①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

新潟県 津南町

- 新たな中期計画の策定にあたっては、地方の活性化や地域間格差への対応など、道路以外に交通手段を持たない地域の実情に配慮した道路整備を行っていただきたい。特に中山間地の道路整備は、費用対効果が低いとの事から整備が後回しにされ、都市部とは大きな格差が生じている。命がけで通行しているような道路は早急な整備が必要である。
- 道路特定財源の一般財源化にあたっては、遅れている地方における道路整備に対し、必要かつ安定した財源の確保を図っていただきたい。
- 活力ある地域づくりを推進するため、市町村道から高規格道路に至る道路網の整備促進を図っていただきたい。
- 災害に対して、安全で信頼性の高い道路ネットワークの形成を推進していただきたい。
- 地方公共団体の道路整備財源の充実強化を図っていただきたい。

今後の道路行政についての意見・提案

②－１ 地域の現状と抱える課題

新潟県 津南町

○現状と課題

- ・少子高齢化が進んでいる中、社会基盤整備を計画的に推進するためにも道路整備が重要となっている。そのためには遅れている道路網整備を長期的な視点にたって促進する必要がある。
- ・当地域は全国有数の豪雪地帯であり更に急峻な地形も多いことから、雪や災害に強く安全で信頼性の高い道路整備が必要である。

## 今後の道路行政についての意見・提案

## ②-2 地域の目指すべき将来像

新潟県 津南町

少子高齢化が急速に進むことに危機感を抱いておりその対策に取り組むとともに、夢と誇りが持て「住んでよかった」「訪れてよかった」と思える町づくりを目指している。

具体的には、

- 1 豊かな清流、澄んだ空気、緑豊かな大地などの自然資源を活用し、農林業を基幹産業として位置づけます。
- 2 体験型の観光を推進し、交流人口の増加を図ります。
- 3 後継者育成とＩＴターの積極的な受け入れにより、町民一人ひとりが生きがいを持ち、活気のある町を目指します。
- 4 行政・民間企業・住民が対等な立場で協力し、さまざまなサービスを実施する協同型社会の実現を目指します。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

新潟県 津南町

| ○重点事項       | ○代表事例              | ○期待する効果や評価等                                                                          | ○その他 |
|-------------|--------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|------|
| ・災害に強い国土づくり | ・国道117号大倉バイパスの早期完成 | ・中越沖地震では本線が迂回路となったが、大倉スノーシェッド内では大型車のすれ違いができず大渋滞となり、緊急輸送道路としての効果は半減した。早期完成により解消が図られる。 |      |
|             | ・国道405号秋山郷の道路整備    | ・「平成18年豪雪」の交通止により秋山郷10集落501名が孤立した。現在、防雪工事、拡幅改良に着手していただいているが、早期完成により安全安心が確保される。       |      |
| ・交通安全対策     | ・国道405号大割野地内の歩道整備  | ・中高一貫校が開設されたが歩道が未整備のため非常に危険な状況である。早期の安全確保が急務である。                                     |      |